

① はまなか 議会だより

NO141
令和4年7月15日発行



6月定例会

予 審	算 議	4回目のコロナワクチン接種の内容は	2P~4P
一 質	般 問	4人の議員が町政を問う	6P~9P
		瑞色鮮 (佐々木珠李 さん)	10P

6月4日、浜中小学校で運動会が行われました。今年も昨年に引き続きコロナ禍での開催となりましたが、子どもたちの一生懸命な姿を見ることができました。1年生から6年生まで、笑顔いっぱいの運動会となりました。

表紙の写真

国保税一世帯当たり 平均1万2139円の減額 課税限度額102万円に

**6月
定例会**
8日～9日

本年も北海道から示された「標準保険税率」を基に、前年所得と決算見込みを考慮した上で税率等の改正を行った。

今回の改正では、医療費分が一世帯平均22万5882円となり、前年度対比1万892円の減額。

後期高齢者分は一世帯平均7万7350円となり、838円の減額。

介護分は一世帯平均6万9362円となり、145円の減額となった。

これにより、一世帯当たりの課税額は平均34万391円となり、1万2139円の減額となる。また、この改正は本年4月1日から適用となる。

なお、地方税法施行令の一部改正に伴い、課税限度

6月定例会が8日・9日の2日間の会期で開催。

一般会計・特別会計補正予算と条例改正など15議案が上程され、いずれも原案どおり可決しました。

一般会計は1億2650万円を追加し、予算総額8億9134万円となりました。

一般質問は、4人の議員が登壇しました。

前年度との比較

年度	被保険者数	1人当たり 平均課税額	課税世帯	1世帯当たり 平均課税額	限度額
令和4年度	2,252	156,592	1,036	340,391	1,020,000
令和3年度	2,364	158,370	1,062	352,530	990,000
比較	△ 112	△ 1,778	△ 26	△ 12,139	30,000

※この表は医療費分、後期高齢者分、介護分の合算数である

額が医療費分で2万円、後期高齢者分で1万円引き上げられ、3区分の限度額合計は102万円となった。

問 新型コロナウイルスワクチン接種経費1980万円は4回目の接種分であるが対象者・日程・接種場所と周知方法は。

また、ワクチンメーカーの選択は可能か。

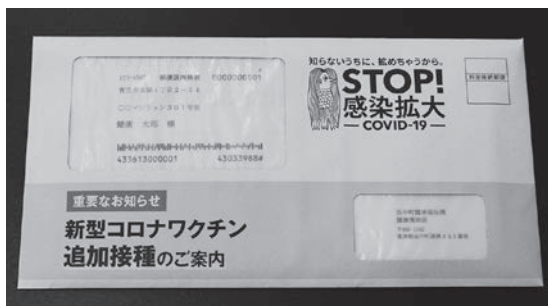
答 4回目の接種は、感染予防ではなく重症化を防ぐことが目的となっている。

接種対象者は、重症化リスクの高い60歳以上の人と59歳～18歳の基礎疾患のある人である。いずれも希望者で3回目以降5カ月を経過した人からとなる。

60歳以上は、日時と会場を記した接種券を郵送し、基礎疾患者へは、接種券発行申請書を自治会配布し、申請に基づき日程などを通知する。

原則、文化センターでの集団接種となるが、人数が減少してくれば診療所での個別接種も考えている。開始は8月6日からとなる。

また、ワクチンメーカーの選択は、国からの供給を受ける立場であり、現状では難しいと思う。



60歳以上に送付された接種券

補正予算審議から 4回目のコロナワクチン 接種の内容は

特産品加工事業への補助は

問 町地域経済活性化促進奨励補助198万円の内容と補助事業の周知方法は。

答 ウニ加工用の小型急速

冷凍機92万円とデザイン料を含むシールの印刷246万円。浜茹でタコ用の真空パック袋39万円とラベルプリンター39万円。乳製品の

容器23万円。合計で439万円の事業に対し198万円を補助する。
特産品加工事業補助の周知方法は、町のホームページ

ジで掲載しているが、町内の事業者はこの制度をより多く活用してもらうため、広報誌などでスピード感を持って周知したい。

福祉職就学資金貸付金の増額は

問 この貸付金制度は、昨年12月に条例制定された新制度で、月額8万円（年96万円）を卒業まで毎年貸付し卒業後3年間、町内で福祉職として勤務すると返済が免除されるものである。

当初予算では、1人分の96万円であった。この度の補正は、2人目の申請とと思うが72万円の算出根拠は。また、2人とも卒業後は町内に就職するものか。その職種は。
今後、介護職など不足するマンパワーの確保に向けこの制度の周知拡大は有効と考えるが。

制度（1年限り120万円）を活用して、現在2年生である。町の新たな制度を知り、申請相談があった。

2人とも卒業後は、介護福祉士として「野いちご」での勤務を希望しており、その公平性・整合性を考慮し、96万円の2年分192万円から120万円を差し引いた72万円を貸し付けるもの。

学生への周知は、年明け早々に管内高等学校をはじめ道内の福祉職専門学校・大学へ制度の概要を記した申請書を送付している。今年度は、制度説明に福祉系の大学を訪問している。今後情報発信し、継続的な人材確保に努めたい。

答 72万円の対象者は、昨年、福祉職専門学校に入学し、「野いちご」の就学資金

有害鳥獣被害対策の内容は

問 エゾシカ侵入防止電気柵材料費86万円の内容及以前から調査研究されている調査結果の公表は。

答 平成25年

に琵琶瀬地区に設置されている電気柵の補修に要する経費で、支柱が曲がっていたり線の間隔に隙間ができてきている状況から、部分的に4線から5線に補強するための電線400m・支柱250本と電源本体を交換する。設置は、酪農学園大学の生徒により8月中旬までに行う予定。同大学による調査研究の結果は、本年10月頃に報告する場を設けたい。



デザインも新しくなる牛乳瓶

ふるさと納税への取り組み強化は

問 ふるさと納税推進係が設置され取り組みの強化が期待される。この度の補正で、旅費36万円・印刷製本費405万円・支援業務委託料296万円が増額されたがその内容は。

答 旅費は、平成15年から町内で養蜂業を営む会社のハチミツ製品を返礼品に加えるために、熊本県の本社および人気ナンバーワンであるハーゲンダッツの活用強化を目的に東京本社を訪問する費用である。

問 印刷製本費は、単に返礼品カタログであった納税パンフレットの内容を浜中町の産業・自然・観光・食などの情報発信とPR動画を視聴できるQRコードを貼り付けるなど、町の魅力を伝えられるものにする。

答 委託料は、ふるさと納税特設サイトをリニューアルするもの。現在は7つあるポータルサイト（ふるさと

道が代理受領した赤潮対策支援の内容は

問 ふるさと納税基金繰入金193万円は、赤潮被害を受けた道東16市町に代わって、北海道が全国にCF（クラウドファンディング）により被災地寄付（支援）を呼びかけ代理受領した本町分であるが、16市町で受けた寄付金の件数と総額、上位3位までのランキングと

本町の順位は。また、本町独自によるCFで寄付を呼び掛けた経緯はあるか。

答 16市町の寄付金総額は、941件3410万円である。上位3位までのランキングは、1位が厚岸町で114件313万円。2位は釧路市90件309万円。3位は浦幌町79件269万

円である。本町は33件の193万円で、順位は14位である。

なお、本町への支援額は水産振興費の特定財源として予算措置している。また、本町独自の赤潮対策支援の寄付金を募った経緯は、本年3月からふるさとチョイスのサイトでCFを行ったが、件数・寄付額ともに少なかった。

湿原センターのWi-Fiは

問 霧多布湿原センター管理運営に要する経費の133万円は、光回線導入に伴い来館者も利用できるようにするものと思うが詳細は。

また、町内の景勝地などにWi-Fiフリースポットの増設を調査してスポットの増設を考えたい。

答 光回線による高速通信網の改修工事により全館でWi-Fiを利用できるようにするもの。

コロナ禍により観光客数はまだ戻っていないが、子



その他の主な歳出（一般会計）

歳出の内訳	金額
一般コミュニティ事業助成金（霧多布中央会）	250万円
子育て世帯生活支援特別給付金（45人分）	225万円
産業振興資金貸付金（乳用牛5頭分）	300万円

鈴木誠氏が旭日双光章を受章

鈴木誠氏は、平成7年から平成31年まで、6期24年の長きにわたり、浜中町議会議員として地方自治の育成・発展に貢献されました。その功績が認められ、旭

日双光章を受章し、6月2日、役場にて議長同席のもと、町長より伝達表彰されました。

このたびの受章、誠にありがとうございます。



辺地総合整備計画 策定

○策定

茶内地区辺地は、除雪専用車整備事業6000万円と円朱別橋・昭耕橋・境橋の補修で9400万円。

熊牛地区辺地は、浜中姉別地区一般農道整備事業1億6224万円と狹霧橋の補修で2330万円。

計画期間はいずれも令和4～8年度までの5年間。

Ⅱ 工事請負契約を可決Ⅱ

□ 散布小中学校トイレ改修工事

(契約先) 赤石建設(株)

(契約金額) 7348万円

(工期) 令和4年10月12日

□ 公営住宅個別改善工事

(霧多布団地H02)

(契約先) 赤石建設(株)

(契約金額) 2億2330万円

(工期) 令和5年1月31日

□ 公営住宅新築工事
(茶内団地R04)

(契約先) 九重種市建設(有)

(契約金額)

2億3705万円

(工期) 令和5年3月20日

Ⅱ 財産の取得を可決Ⅱ

□ ふれあい交流・保養センター霧多布温泉「ゆうゆ」キャッシュレスシステム一式購入

(取得先) (株)クワン

(取得金額) 1760万円

(納期) 令和4年9月30日

意見書(可決)

◇ 森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書

(全員賛成)

可決した意見書は、内閣総理大臣をはじめ関係大臣、衆・参両議院議長に提出しました。

議会の録画映像配信始めます!

浜中町議会では、議会をより多くの方に知っていただくために、本会議の映像配信を行うことにしました。これまでは、

役場に足を運ばないと傍聴できなかつた議会の様子を簡単に自宅などで視聴できるよう配信の準備を進めています。

配信は、9月定例会から予定しているので、ぜひ、ご覧ください。

アクセス方法

- ① 町ホームページ内の「浜中町議会」をクリック
- ② 「議会映像配信」をクリック
- ③ 録画映像配信ページへ

一般質問

川村 義春 議員



川村 津波避難対策緊急事業計画は、総合計画との整合性を図るべきと思うが。

町長 改正特措法の成立で特別強化地域に指定された市町村は、津波避難対策緊急事業計画（避難施設の整備など緊急実施する事業内容、事業費、実施年度）を作成し、総合計画の実施計画に掲載し事業推進する。

川村 避難困難地域住民との協議はいつ、どこで、どのような内容で行うか。

町長 町津波避難困難地域の避難対策検討会で議論している報告書は7月までにまとまる。一方、道は、道防災会議の地震専門委員会が6月末に、市町村ごとの被害想定を公表するので、7月下旬～8月中にこれらの説明会と避難困難地域住民との意見交換を行う。

川村 避難タワー建設に向けての実施設計は、観光客への展望・休憩機能など多目的用途を持たせては。

町長 現在、複合施設か単独避難施設かの議論をしている。それぞれメリット、デメリットがあるので検討会の報告と地域の意見を踏まえ適切に判断したい。

川村 避難タワー建設に係る国庫補助残3分の1の財源対策を国・道に要請する時期は。

町長 国・道への要請行動の時期は決めていない。事業内容・計画が整い次第、周辺市町村と連携して要請活動を行いたい。

問 アゼチの岬駐車場内の補修は

答 町内業者に発注し7月に完成する

川村 観光客の安全を図る駐車場内の段差補修などは。

町長 駐車場の縁石と平板ブロックとの段差とトイレ前の車椅子用スロープ段差の解消、岬トイレ前のタイ

問 ハマナスロードの植栽整備は

答 防草シート内に試行的に花を植える

川村 花の植栽を試行的に行うとのこと。その対応は。

町長 寒暖差に強く、花が長く楽しめる赤いサルビアとブルーサルビアの2種類

を発注。6月20日に納品、建設課職員で植栽する。

問 廃校舎の利活用は

答 H Pで企業誘致をP R

川村 光回線の全町整備が進んだので、廃校舎を民間に活用してもらう手立ては。

教育長 現在募集中の施設は旧奔幌戸小学校、旧茶内第三小学校、旧貴人小学校、旧姉別小学校の4施設。

この度、養鹿業者との協議を進めたが活用に至らなかった。個人やN P O法人、民間企業などに幅広く周知するにはH Pが有効。関係課と連携しP Rに努めたい。



ハマナスロードに2種類のサルビアを植えこむ職員

一般質問

田甫 哲朗 議員



津波避難訓練を 住民主導に

現状訓練を継続し 参加率向上に努める

問

答

田甫 避難施設・避難道などハード対策が進められる中、避難訓練参加率が減少傾向にある。東日本大震災以降の訓練状況は。

町長 参加率は、震災後5年の平均が24%で、最近5年の平均が17%である。

田甫 避難要援護者の訓練状況は。

町長 避難援護が必要な人の名簿を各自治会・町内会

へ示し、地域での対応をお願いしている。訓練状況は把握していない。

田甫 津波対策で最も重要なことは、高台への避難時間の短縮であり、そのため練習が訓練である。約8割の人が参加しない現状、訓練のあり方を見直すべきと考える。

夜間や冬場の訓練は行政主導で実施し、通常の訓練実施を地域に委ねることで住民の意識改革も図られ、訓練参加率の向上に繋がると思うが。



早朝からの避難訓練の様子

町長 現在実施している訓練は、職員の対応訓練でもあり継続することが必要である。ただ、住民の参加率向上は重要であり「自分の命は自分で守る」という意識の啓蒙を図り、一人でも多くの人が参加するよう働きかけていく。

問 臨時交付金で
飲食店の経営支援を

答 地域応援券で
消費喚起を

田甫 長引くコロナ禍の中町内での感染拡大もあり、さまざまな業種へ影響が及

んでいる。特に、酒類の提供を伴う飲食店では、客足が遠のき大きな打撃となっている。繁華街のネオンサインは、町の活気のバロメーターであり、その灯を絶やさないために、家賃など固定費の給付支援策は。また、原油価格の高騰が住民生活に経済的負担を強いている。福祉灯油の増量を検討する考えは。

町長 繁華街は、私自身も鍛えられ勉強となった経験からも大切な場であると思う。来店することも含め応援したいと思っている。

また、燃料費などへの支援も必要と考えている。ただ、この度の臨時交付金額は4523万円、その大半が原油価格物価高騰対策と使途が限られていることから、全町民一人に1万円の地域応援券を配布し消費の喚起策を実施する。前回のような使途別の応援券にするかどうかを検討中である。

一般質問

落合 俊雄 議員



問

老人福祉センターは安全か

答

懸念あり 社協の移転を検討

落合 福祉保健課が新庁舎に移転した後も、社会福祉協議会を含む数団体が引き続き、活動拠点として利用が継続されているこの建物の建設年次、基本構造および耐用年数は、また過去の地震で被害を受けたと記憶しているが安全性に問題は。

町長 センターは、昭和57年12月の竣工、構造は鉄骨造で耐用年数は38年、既に40年を経過している。

建設から10年後の平成5年に起きた釧路沖地震で被害を受け、当時で4千万円を超える修復費を要した状況を考えると、耐震性に疑問を持たざるを得ないと認識している。

落合 耐震性に疑問があるとのことだが、その判断はいつの時点でのことか。

町長 正式なものではないが以前、先輩職員からこの建物は充分気を付けるようにとの伝聞があったと記憶している。

落合 伝聞とはいえ、早い段階からこの建物には懸念があると言われていたとすれば、新庁舎建設の段階でセンターの今後についての検討はされていなかったのか。

町長 建設段階での検討会では一部、議論されたようだが結果として現在も社協がここに残っている。

落合 町として移転はどのように考えているのか。

町長 社会福祉協議会が自ら整備すること、また町が新たな施設を整備することは財源の関係からかなり厳

しいと言わざるを得ない。

町は、社協の活動拠点として市街地にできるだけ近く、建物の安全性が一定程度担保され、スペース的にも確保される施設を中心に社協と協議をしたい。

現時点では、旧琵琶瀬小学校、湿原トラストが既に一部を利用して空スペースがあることから、これを中心に検討を考えて行きたい。

落合 いつ起きるか分からない地震災害、その不安の中で日常業務を続ける相手方に対する配慮を怠ってはいけない問題だと思う。町としてしっかりとした対応、スケジュール感を持って進めることが必要と考えるが。

町長 これから積極的に検討を進めて行く。



社協の活動拠点となっている老人福祉センター

一般質問

渡部 貴士 議員



問 不法投棄が減らない原因は

答 モラルの欠如としか言えない

渡部 昨年も同様の質問をしたが、町内の清掃活動は町民にボランティア活動への参加を呼びかけ、行政ができることは時間を掛けて検討したいとの答弁だった。

町長 ポイ捨てや不法投棄

は、犯罪行為であるということの周知や啓発活動を今後も続けていくことが重要と考えている。

不法投棄は、法律で5年以下の懲役もしくは1千万円以下の罰金、法人については3億円以下の罰金に処する罰則規定があるので、警察と連携を取りながら不法投棄根絶に向けて取り組みたい。

渡部 昨年、厚岸霧多布昆布森国定公園に指定されたことからJR茶内駅前に公衆トイレを新設した。

その際には町内への入口であるとのことで新設の理解を求める説明だったが、観光客は立派なトイレを利用することよりも、六番沢周辺



浜中漁協青年部も参加した海岸清掃

からMGロードにかけてのポイ捨てゴミが目立つことにより、旅行の満足度を損なうと考えるが。

また、赤潮や流水着岸は天然災害と考えるが、陸地でのポイ捨ては海洋マイクロプラスチックにも繋がる人災では。

町長 観光客を受け入れる側の体制は不十分と思うが、単に景観だけの問題ではなく、そこに生息する動植物、生態系の維持や生物多様性の保全にも悪影響を与える重要な課題だと認識しているので、しっかりと対策をしたい。

廃プラスチックによる海洋汚染問題は、海洋環境の変化などによる資源の減少に繋がり、海洋生態系にも深刻な悪影響をもたらす脅威となっている。

海を含むすべての自然環境は、漁業者にとって大切な生活の場ともなっていることから、北海道漁業協同組合連合会が清掃活動を呼びかけて実施されている。

海の環境を守り未来に豊かで美しい海岸を引き継いで行くために、漁業者が中心となって海岸清掃活動を実施できるように検討している。

瑞色鮮

霧多布高等学校
3年A組

佐々木珠李



「浜中学」を学んで

私は三年間、北海道霧多布高等学校の生徒として多くのことを学びました。その中で印象に残っていることは浜中学で学んだことです。なによりも印象に残っているのは浜中町の魅力です。浜中町に魅力があるのは知っていましたが、授業を通してさらに魅力があることに気づき知ることができました。

一年生では、浜中町の特産物を使ったピザ作り体験でグループに分かれて自分たちの好みのピザを作りました。

した。浜中町の海産物や乳製品をふんだんに使い、とても美味しいピザを作ることができ、浜中町には美味しい食材が豊富であることに実感することができました。浜中漁業協同組合青年部の方々の出前授業では、私たちが知らない漁業のことを知ることができ、実際に高級な昆布を見て触れることができて、香りの高さなど自分の五感で感じることもできました。

三年生では、三年間の集大成として、各グループに分かれ浜中学報告会に向けての準備をしています。それぞれのグループの視点から浜中町の課題を見つけ、それを解決する方法を考えていきたいと思っています。三年生なので、最後まで気を抜かず精一杯浜中町をPRしていきたいと思っています。

最後に私たちに多くの学びの場を用意していただいた地域の皆様、教職員の皆様に深く感謝申し上げます。ともに、成長し続ける後輩に対して、ご支援とご協力していただけることを心から願っております。

● 揮毫 書道部3年A組 横山 萌さん
● 読み方 ずいしよくせん
● 意味 めでたい光景。



町のトピックス

第28回浜中町植樹祭

6月14日撮影

コロナの影響により中止となっていた植樹祭と同時開催のお魚殖やす植樹運動が3年ぶりに開催されました。当日は晴天の中、約80名の方が参加し、800本の苗木が植えられました。



町のトピックス(話題)を募集します!

この欄に掲載するまちの季節の写真をお寄せください。次回の発行は令和4年10月15日です。

ご応募はこちらへ 浜中町議会事務局 E-mail: gikai@town.hamanaka.lg.jp TEL: 62-2265

発行 北海道浜中町議会
編集 議会広報公聴常任委員会

〒088-1592
北海道厚岸郡浜中町湯沸445番地
☎0153-62-2265

この議会だよりは再生紙を使っています